

**平成24年度（通期）  
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 都市活力 部 都市企画 室 文化振興 課

1. 基本情報

1004

施設名	伊丹市立工芸センター		
施設の設置目的	工芸（クラフト）を通じて市民の豊かな暮らしを創出するとともに産業の振興と文化の発展を図る。		
指定管理者の名称	公益財団法人 伊丹市文化振興財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 21 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	実施事業数 (単位: 回)	
	指標の意味	年間の企画展、講座等の実施数	
	今年度の目標値	85	今年度の実績値 100

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H20	H21	H22	H23	H24 (上期)	H24 (通期)
	来館者数 (人)		38,186	100,958	62,779	72,577	64,739	43,584
延べ事業開催回数(回)		61	84	85	90	83	58	100
延べ事業参加者数(人)		21,574	66,677	39,795	45,852	43,505	30,945	52,258

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成24年度指定管理者の収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理委託料	38,562	指定管理委託料	38,562
	事業収入（講座料収入等）	17,480	事業収入（講座料収入等）	19,260
	利用料金	203	利用料金	236
	会費収入	990	会費収入	855
	合計	57,235	合計	58,913
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	26,646	人件費	25,102
	維持管理経費	6,048	維持管理経費	6,078
	事業等経費	6,071	事業等経費	6,071
	自主事業経費	18,470	自主事業経費	21,807
	合計	57,235	合計	59,058
	<収支差>		<収支差>	
	収入合計－支出合計	0	収入合計－支出合計	-145

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H20	H21	H22	H23	H24	H25
	市の収入		189	0	0	0	0
（内、使用料収入）		189	0	0	0	0	-
市の支出		35,801	34,934	35,959	35,315	39,219	-
（内、指定管理委託料）		35,801	34,934	35,959	35,315	38,562	-
実質経費（歳出－歳入）		35,612	34,934	35,959	35,315	39,219	-

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

#### 4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課意見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	委託業者の業務水準が下がらないよう、チェックリストによる点検を実施している。また、環境マネジメントシステムに則し、節電等に積極的に取り組んでいる。	A	館内は常に清潔に保たれておりアンケート結果も高評価である。施設管理は協定書・仕様書の水準を満たし、適切に行われている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A		A	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	各種研修に積極的に参加するだけでなく、館内で随時研修を実施している。消防局の協力により救命救急講習(AED)を受講している。	B	必要な職員の配置が行われており、接遇や能力研修の他、救命救急講習なども受講している。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	連絡体制を整備、年2回の防災訓練を消防局立会いのもと実施。	B	みやのまえ文化の郷で、各施設の緊急連絡体制が整備され、訓練も行われている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	アンケートを随時実施し寄せられた意見・要望に対し、迅速な対応を行っている。職員はもちろんのこと委託業者にもサービスの向上に努めるよう指導している。	A	アンケート結果をもとに、みやのまえ文化の郷内で定期的に情報交換を行っており、利用者ニーズを速やかに施設運営に反映させている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	アンケート結果等に基づいた展覧会内容及び新たな講座を開催し、好評を得ている。	A	単館で利用者の意見や要望を事業に反映させるだけでなく、みやのまえ文化の郷内で、情報の共有や連携事業の実施などを行っている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	電子データ等の情報管理は厳格に行い、持出は一切禁止している。またホームページの充実および広報に積極的に取り組んでいる。	B	ホームページや広報紙だけでなく各種メディアや団体等に対しイベントごとに情報提供を行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		A	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適切に執行している。	B	収支計画の基づき適正に行われている。
経理処理は、適切に行っているか。		B	B			
施設所管課総評	「伊丹国際クラフト展」をはじめとするオリジナル性の高いさまざまな企画展や子ども向けの「夏休み1日クラフト教室」、プロのジュエリー作家育成をめざす「伊丹ジュエリーカレッジ」など専門性の高いものから、子どもから大人まで工芸にふれあえる事業を積極的に実施し、多くの来館者に、工芸に親しみ豊かな暮らしを味わっていただく機会を提供している。					

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。「-」＝当該項目での評価対象外。

#### ☆利用者満足度調査(アンケート)結果の概要

実施の有無	【アンケート実施時期】平成24年4月1日～平成25年3月31日
有り	【回答者数】 739名 (みやのまえ文化の郷共通)
	・館内の清掃は行き届き、清潔に保たれていますか。・・・「非常のきれい」「きれい」98%
	・職員の接遇態度はいかがですか。・・・「とても良い」「良い」98%
主な回答内容	・施設を利用した満足度はいかがですか。・・・「とても満足」「満足」97%
	(自由意見)
	・伊丹の文化を感じさせてくれる空間が良い。
	・小学校1年生の子どもと来館しましたが、文化施設を実体験できる貴重な体験をさせていただきました。

#### 5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置